

一般社団法人 2011 年度第 1 回理事会議事録

日 時：2011 年 5 月 21 日（土） 15：45-17：00

会 場：総評会館 201 会議室（2 階）（東京都千代田区神田駿河台 3-2-11，御茶ノ水駅，新御茶ノ水駅）

出席役員 理事(31 名)：久田健一郎副会長 渡部芳夫副会長

天野一男 安藤寿男 石渡 明 伊藤谷生 永広昌之 小山内康人（16 時退出）狩野彰宏 北原哲郎 紺谷吉弘 斎藤 眞 榊原正幸 坂口有人 佐々木和彦 柴 正博 高木秀雄 高橋正樹 竹内 誠 田村嘉之 内藤一樹 中井 均 平田大二 福富幹男 藤林紀枝 藤本光一郎 星 博幸 保柳康一 向山 栄 山口耕生 脇田浩二

監事(2 名)：青野道夫 山本正司

欠席役員 理事(15 名)：宮下純夫会長 井龍康文 上砂正一 太田泰弘 奥平敬元 小嶋 智 芝川明義 竹下 徹 田近 淳 西 弘嗣 楡井 久 松岡 篤 松田博貴 松原典孝 村田明広 矢島道子 山田泰広 林 愛明

その他出席者 事務局：橋辺

* 成立要件：理事総数 49 名の過半数 25 名，本日の出席者 31 名で本理事会は成立。

* 議決：出席者の過半数 16 名

審議事項

1. 理事会議長・副議長の選出

2011 年度理事会議長として竹内誠理事、副議長に榊原正幸理事を選出した。

2. 各賞選考委員について：選考委員会規則

各賞選考委員の任期について藤本常務理事より、2010 年度の第 1 回執行理事会において、理事の改選に合わせ 2 年任期とすることが審議されていたにもかかわらず、理事会への提案がなされていなかったため、改めて今理事会において承認を求めたい旨の説明があった。その結果、各賞選考委員会規則を変更し、委員の任期を 2 年とすることが承認された。これに伴い、前年度第 1 回の理事会において選出された選考委員全員の任期の継続が承認された。具体的には規則 2 項 2) の改正で、以下のとおりとなる。

<各賞選考委員会規則>（抜粋）

2. 各賞選考委員会（以下選考委員会という）は、理事会が推薦する 10 名の委員と前・現地質学雑誌編集委員長および前・現副委員長，Island Arc 前・現編集委員長で構成する。

1) 理事会推薦委員の 10 名は，専門を考慮して理事の互選により選出し，委員長はこの委員間の互選とする。

2) 理事会推薦委員の任期は 2 年とし，~~1 年ごとに半数改選~~とする。

3. 選挙管理委員会委員の選出：2012 年度代議員および役員選挙

選挙管理委員の候補者として以下の会員の方々の提案が執行理事会より示された。

委員候補者氏名の開示に関し多少の意見交換があったが、問題ないとして承認された。

候補者：氏家恒太郎（筑波大学）、兼子尚知（産総研）、高橋 聡（東大）、
守屋和佳（早稲田大）、和仁良二（横浜国立大学）

4. 受託業務に係る受託研究取扱規則案、受託研究国内旅費細則・受託研究謝金細則について

向山理事より受託業務に係る規則案ならびに二つの細則の策定が提案された。

取扱規則については、受託経費の管理費の割合（高すぎるのでは）、知的所有権の帰属に係わる発注者・受注者・調査研究者の関係、成果物に係わっては守秘義務、守秘義務のある受注等について質問や意見が交わされた。また、謝金細則については、謝金の基準額、会計上の監査体制や課税等についての意見が交わされた。 現行例や他機関の規則等も参考にしつつ策定したことや、数字的なことは“基準”であり、とくに一般的な常識から外れているということではないことなどが説明された。

その結果、表記の1規則案と2細則案は修正もなく承認された。

5. 地質学雑誌編集出版規則の制定

提案者の小嶋理事：地質学雑誌編集長に代わり藤本常務理事から、本議案の提案について趣旨説明がなされた。要点としては、1)最近の投稿・編集・出版事情に即した変更、2)短報の廃止による変更、3)文献例を規則からはずし細則とする、4)特集号の申込書から“前文”を削除、5)数式の書式に関する細則を新たに追加、などがあげられる。

規則の表題も含め、修正変更ではいけないのか、規則の英文版策定の質問については、従来からも検討課題であることなどの意見が交わされ、“編集規則“を廃止し、”地質学雑誌編集出版規則“を設けることが承認された。

6. 東日本大震災対応作業部会の設置と対応について

・4月2日の理事会における、東日本大震災に関する会長提言、2011年度の事業計画に盛り込まれた震災への取り組み、また、関東支部からの臨時特別委員会の設置の提案等を受けて、執行理事会のもとに「東日本大震災対応作業部会」が設置されたこと、作業部会が出した検討報告についての今後の対応、取り扱いについての議論を本理事会において行うことが、藤本常務理事から説明された。

作業部会委員：池田安隆・伊藤谷生・佐藤比呂志・重松紀生・宍倉正展・中山俊雄・
平田 直(非会員)・藤井敏嗣・藤本光一郎（幹事）・山本高司(幹事)

・今後の議論にたいし、地質学的立場からも参加できるよう、議論をしておきたい、水戸大会においても大いにこの点を議論したいと考える、提言の対象を考えて整理すべき、防災や土地利用の観点からの検討がなければ役に立たない、大規模土地改作を行ったところに大きな被害があると、元の土地、地形が露わになり、その状況がハザードマップにもなり得るなど、防災や社会貢献の観点からの意見が多く出された。

7. その他

1) 地質災害委員会委員長の選出について

齋藤副常務理事より、地質災害委員会委員長選出の提案があり、齋藤氏を委員長とすることを承認した。また、委員候補選出を齋藤委員長に一任した。

報告事項

1. 執行理事会報告

議事録より要点のみ説明

2. その他

1) ジオパーク支援委員会（高木）

1. 第12回地震火山こどもサマースクール（地震学会・火山学会・地質学会共催イベント）

実行委員長：竹谷陽二郎，

委員：中川和之(地震学会)・星住英夫(火山学会)・高木秀雄(地質学会)ほか

開催日 2011年8月6,7日

開催地 磐梯山（会場は、国立磐梯青少年交流の家の予定）

地震火山こどもサマースクール hp [http:// www.kodomoss.jp/](http://www.kodomoss.jp/)

2. ポスターとともにパンフレットを作成，学会 HP から pdf ファイルでダウンロード可能.

3. 日本ジオパーク委員会（JGC）

- ・今年の日本ジオパークネットワーク加盟申請は、次の7地域。5月23日の連合大会のジオパークセッション後半にJGC主催の公開プレゼンテーションを実施。その後JGCで書類・プレゼン評価を行う。

男鹿半島・大潟，磐梯山，茨城県北，秩父，下仁田，白山手取川

- ・世界ジオパークネットワーク（GGN）加盟申請（国内審査）は、隠岐ジオパーク（なお、今年GGNから視察・審査を受けるGGN加盟申請中の地域は室戸ジオパーク）

4. ジオパーク関連カレンダー

- ・第2回日本ジオパーク洞爺湖有珠山大会 2011年9月29日～10月1日

- ・第5回ジオパーク国際ユネスコ会議

島原半島ジオパーク 2012年5月12日～15日

以上